



06_応用編_01

2022/01/28作成

目次:応用編

■ 5つの便利な発注方法	5つの便利な発注方法	3
■ 発注の仕方		
• 発注ダイヤログ	...	4
• 発注パネル	...	5
• フル板発注	...	6
■ フル板発注		
• フル板発注:画面構成	...	7
• フル板発注:LOCKボタン	...	8
• フル板発注:圧縮板	...	9
• フル板発注:価格帯別出来高	...	10
• フル板発注:マウス取引 (ドロップ&ドロップ取引)	...	11
• フル板発注:現物買入	...	13
• フル板発注:現物売却	...	14
• フル板発注:訂正／取消	...	15
• フル板発注:複数注文の一括訂正機能	...	16
• フル板発注:マウス訂正 訂正可否一覧	...	17
• フル板発注:逆指値	...	19
• フル板発注:W指値	...	21
• フル板発注:信用返済(建玉毎)	...	22
• フル板発注:返済順序ボタン	...	23
• フル板発注:信用返済(全建玉)	...	24
• フル板発注(Fintechプラン適用時)	...	25
■ 取引実例集		
• 配当利回りの良い銘柄を買う	...	26
• 優待取りの際に優待クロスをしたい	...	29
• 先物とオプションでリスクヘッジ	...	32
• 為替マーケットを見ながらの売買	...	33
• ランキングを活用した売買	...	35
■ バスケット発注の活用例		
• バスケット発注の活用例 :NTスプレッド	...	37
• バスケット発注の活用例 :カレンダースプレッド	...	39
• TOPIX先物とETFを使った アービトラージ	...	40
• 指数先物取引とETFを使った 分配金取り	...	41
■ レイアウトのコツ		
• 人気のウィンドウ／個別銘柄:複合	...	43
• 日経平均／TOPIX	...	44
• ニュース	...	45
• マネービュー	...	46
• レイアウトの実例	...	48
■ ご注意事項		
• ご注意事項	...	51



5つの便利な発注方法

■ 発注方法:

kabuステーションには、基本的な発注である発注ダイアログ(現物株式の発注(買い))のほかにも、5つの便利な発注方法があります。フル板発注、発注パネル、発注ボードは都度発注するダイアログです。リスト発注、バスケット発注は先に注文を登録しておき、後から発注するダイアログです。



● 発注パネル

- コンパクトな画面構成ながら注文約定照会、残高照会を装備。サクサク発注できる軽量設計のため、ノートパソコン等でも活躍。
- 最大10枚まで起動が可能。発注してもウインドウ自体が消えずに常駐してくれるで、次々に取引するお客様にピッタリです。



● フル板発注

- 起動するウインドウは少なければ少ない方がいいというお客様にはコレ! ドラッグ&ドロップでの板発注も可能です。Fintechプラン以上の適用で全ての板状況や引け数量も確認できます。始値予想/終値予想が見られるのは当社ならでは。
- 板情報と共に注文状況/残高/銘柄情報を1つのウインドウ内で確認、発注できます。



● バスケット発注

- 現物株式・信用取引・先物/オプション取引異なる商品を一括発注できます。
- 事前にセットしたバスケットを何度も発注できます。先物とOPの合成ポジションの一括発注等ができます。



● 発注ボード

- あらかじめ、価格以外の条件(売買/数量他)を登録し、後は板をダブルクリックだけで発注することができます。
 - 同時に複数銘柄を監視しながらスピーディに価格設定・発注できます。固定銘柄で日計りをする場合に便利です。
- ※発注ボードの詳細は「マニュアル03」発注ボードをご覧ください。



● リスト発注

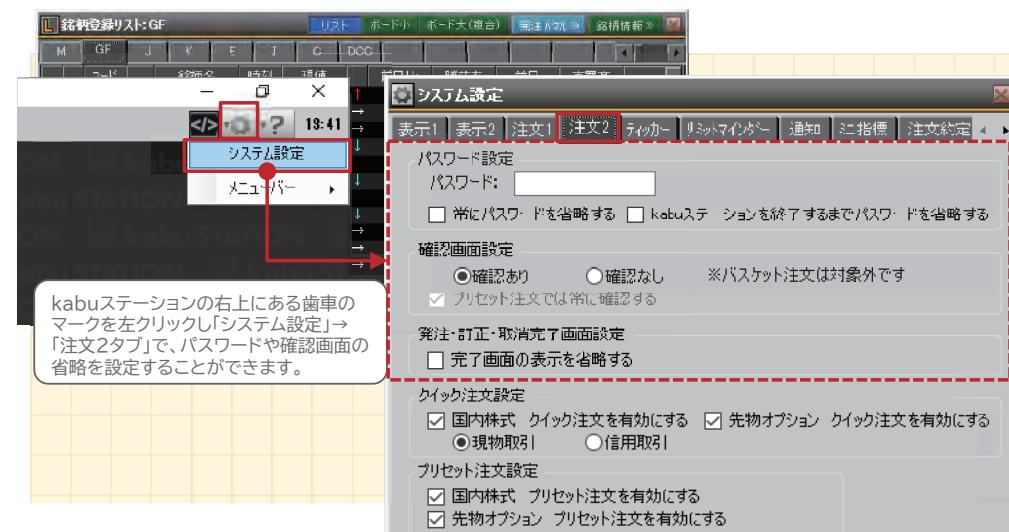
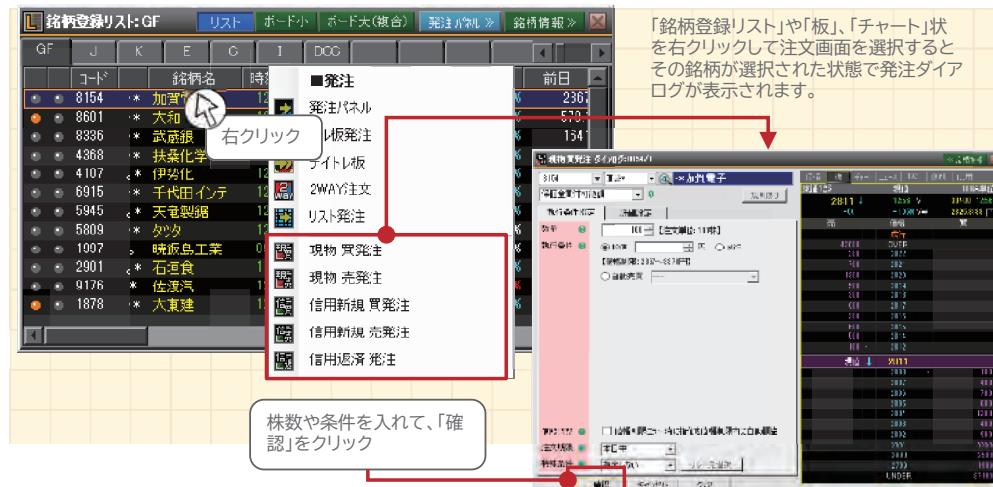
- 逆指値や土指値などの自動売買も設定可能な商品毎の一括発注機能です。
 - 寄付や不成などを一括発注で使用したい場合に便利です。
- ※リスト発注の詳細は「マニュアル03」リスト発注

発注ダイアログ

■ 発注ダイヤログ:

W指値やUターン注文等、全ての自動売買を取り扱える基本的な発注窗口です。↑↓(上下キー)、Tabキー、Enterキーを利用し、キーボード操作だけで発注することもできます。

※発注ダイアログの詳細は「マニュアル03」現物株式の発注(買い)をご確認ください。





発注パネル

■発注パネル:

コンパクトな画面構成ながら注文約定照会、残高照会を装備。
省スペースでサクサク発注できる軽量設計。ノートPC等でも活躍します。
発注後ウィンドウ自体が消えないため日計り取引向きです。

※発注パネルの詳細は「マニュアル03」発注パネル:画面構成をご確認ください。

■発注パネル:

- タブを切り替えて、表示する商品群を選択します。
- 株式の場合は、コード番号、もしくは銘柄名の一部を入力して検索します。
- 先物オプションの場合は、「日中」「夜間」「日通し」から選択します。

銘柄入力フォーム上で右クリックするか、虫眼鏡ボタンで銘柄検索ダイアログが表示されます。

フル板発注

フル板発注:

ドラッグ & ドロップでの新規発注／返済／訂正／取消が可能なウィンドウです。
板情報/注文約定照会/残高照会/銘柄情報を1つのウィンドウ内で確認することができます。

「先物リスト」や「板」、「チャート」上を右クリックして注文画面を選択すると、その銘柄が登録された状態でフル板発注ウィンドウが表示されます。

①新規／返済、売り買いを選択

②株式を入力

③板上の「発」の部分をクリック

④確認画面にて、パスワードを入力、「注文」をクリックし発注完了です。
※確認画面、パスワードは省略可能です。



フル板発注:画面構成

■ フル板発注:

フル板発注とは、リアルタイムに更新する「板」に発注したい数量を直接入力する発注方法です。このウィンドウは、当該銘柄の投資情報と共に、注文約定照会、残高照会も表示され、最大20銘柄を上部のタブに登録することができます。



※フル板の文字サイズ変更は「マニュアル01」システム設定:「表示2」タブをご確認ください。

<input type="checkbox"/> 累計	成行を含む、売り注文または買い注文の累計を表示します。		始値予想、終値予想のon/offボタンです。
<input type="checkbox"/> 引け	「引け」に指定された注文を表示します。		返済順序ボタンです。建玉を一括返済する際の返済順序ルールを変更できます。
<input type="checkbox"/> 件数	注文件数を表示します		圧縮板のon/offボタン。気配のない価格帯を非表示にできます。
<input type="checkbox"/> 確認省略	確認画面省略:チェックをすることで、発注時の確認画面を省略することができます。		中心値(現値)固定のon/offボタンです。
<input checked="" type="checkbox"/> 他市場	優先市場の他に選択した他市場を同時に表示することができます。		マウス取引機能のon/offボタンです。
			価格帯別出来高のon/offボタンです。



フル板発注:LOCKボタン

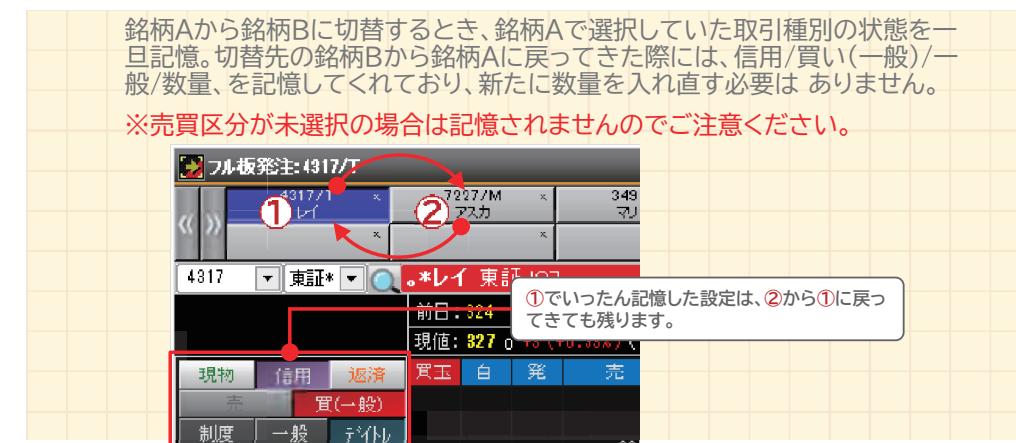
■ LOCKボタン:

フル板発注/発注パネルにおいて、現物/信用などの商品区分や数量、執行条件等について、発注後も商品区分や数量、注文期限等がロックされる機能です。



■ 選択状態保存:

フル板発注の上部にある銘柄登録ヘッダーに登録している銘柄毎で選択した取引種別等は、銘柄(ボタン)毎に記憶をします。一旦記憶をしておけば別の銘柄から戻ってきた時に保存状態で残っています。





フル板発注:圧縮板

■圧縮板:

気配のない少数点部分は不要とのご要望にお答えし、無気配の価格を非表示にできる圧縮板(あっしゅくいた)をご用意しています。小数点呼値銘柄や気配の薄い銘柄等にご利用ください。



圧縮板の使い方

フル板発注の板部右下にある「圧」アイコンをクリックすると圧縮板のON/OFFが切り替わります。

圧縮板対象画面	フル板発注
Fintechプラン以上	※1
対象商品	株式/先物/OP

※1通常プランの場合は少数点呼印8本の範囲
内の圧縮となります。Fintechプラン以
上の適用で少数点呼印8本以上の圧縮版
をご利用いただけます。

壓縮板 機能概要

圧縮板OFF(無効)時:気配の出でない価格帯も表示されます

圧縮板ON(有効)時: 気配の出でない価格帯が非表示になるため、右上図のように歯抜け部分が圧縮され、気配のある価格帯のみを表示します。

※圧縮板ONの状態でマウス取引が可能ですが、マーケットの状況によっては板が瞬間に出現・消失し、思わず値段で注文が執行される可能性がありますのでご注意ください。

- 中心値固定機能をONにしている場合はマウス取引ができません。圧縮板をONでマウス取引をご利用の場合は、中心値固定をOFFにしてください。



※保有している建玉の建玉価格が少数点の場合、気配の無い価格帯でもプロット表示します

※保有建玉がTOPIX構成銘柄から外れた場合(小数点の建玉単価だが、整数呼値になった場合)は、TOTAL行のみに建玉が表示されます。



フル板発注:価格帯別出来高

■価格帯別出来高：

フル板発注は、価格帯別出来高を緑色のグラフ表示と株数表示が可能です。フル板発注の右下にある価格帯出来高アイコンをクリックする都度、表示モードが切り替わっていきます。



価格帯別出来高がクリアされるタイミングについて

- ・指数先物取引：市場選択（日中/夜間/日通し）に関係なく前営業日の夜間取引からの累計を使います。
※日中引け情報の通知受信時にクリアされ、翌営業日扱いの表示に切り替わります。
 - ・株式： システム日付変更時、前場の注文受付開始通知の受信時にクリアされ、翌営業日扱いの表示に切り替わります。

フル板発注:マウス取引(ドラッグ&ドロップ取引)

■ マウス取引:

をON にすることで板気配を直接クリックして新規発注がたり、ドラッグ&ドロップで訂正や返済ができます。注文依頼中を右クリックすることで注文を取り消すこともできます。

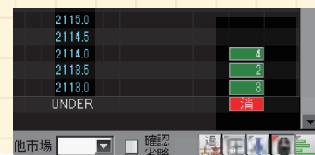
マウス取引を行う際は  をON  にします。



「発」列で指値をしたい気配をクリックすると、その価格へ指値することができます。

「自」列は当該銘柄の自身の注文依頼中、「買玉」「売玉」は自身の保有残高です。

- ① 現物残高・建玉の総数が表示されます。
- ② 成行注文はこちらのエリアで新規発注、注文依頼中の表示を行うことができます。
- ③ 新規発注エリアでマウスオーバーした気配(価格)にて、指値発注が可能です。株数は数量入力欄にてあらかじめ指定をしますが、マウスホイールの上下でも株数指定が可能です。
- ④ 残高を対戦取引の価格エリアにドラッグ&ドロップすることで対戦売買・返済が可能です。
- ⑤ 注文依頼中の注文を訂正したい価格エリアへドラッグ&ドロップすることで訂正が可能です。また、注文依頼中の注文を右クリックすると取消が可能です(ウィンドウ下部の注文約定照会の「消」でも取消が可能です)。



※下側の「消」をクリックすることで注文依頼中の売買エリアの発注を全数量取り消すことができます。

フル板発注:マウス取引(ドラッグ&ドロップ取引)

■ マウス取引:

マウス取引を行う際に、板上に表示される項目や色についてご案内します。一般的に、株式市場では、値上がりは「赤」、値下がりは「青」、買いは「赤」、売りは「青」で表示されます。

中	クリックすることで中心値を表示します。	終	終値予想
始	始値予想		価格帯別出来高
7264.0	数値は現在値 (ひとつ前の値段より現在値が下落している場合は青枠で表示)	7247.0	数値は現在値 (ひとつ前の値段より現在値が上昇している場合は、赤枠で表示)
特	特別気配	W	一般気配 (買い上がり・売り下がり中)
・	最良売気配	・	最良買気配
赤価格	基準値(前日終値)より上の価格	青価格	基準値(前日終値)より下の価格
発 発 発(縦列)	新規発注が可能なエリアです。	自 自 (縦列)	注文依頼中を表示するエリアです。
——	当日安値を示すライン	——	当日高値を示すライン
買玉 (縦列) 売玉 (縦列)	現物/信用の保有残高を表示するエリアです。 買玉:買いポジション 売玉:売りポジション		

フル板発注: 現物買い

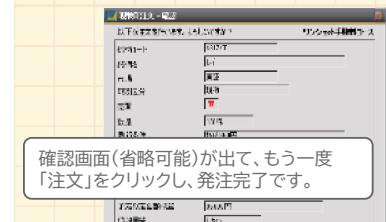
①検索ボタンで銘柄を登録します。上部銘柄登録ヘッダー部に検索した銘柄が登録されます。

②数量を決定します。

③買いたい価格の赤マーク部分をクリックすると、下記のようなポップアップが出ます。



通常の指値でよろしければ「注文」をクリックします。

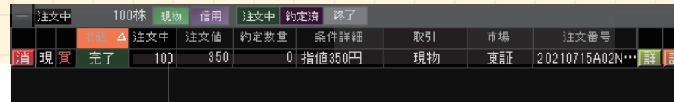


確認画面(省略可能)が出て、もう一度「注文」をクリックし、発注完了です。

- ✓ 発注後は注文受付画面が表示されます。
「次回以降省略」をチェックすることで省略することができます。



- ✓ 発注後は自身の注文依頼が板に表示されます。
- ✓ フル板の下方にも、注文中の取引が一覧表示されます。



フル板発注: 現物売り

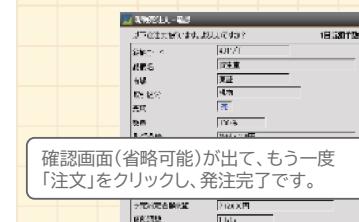
①売却したい銘柄の「売」をクリックします。

②売数量を入力します。

③発注したい売り価格帯をクリックすると、このようなポップアップが出ます。



通常の指値でよろしければ「注文」をクリックします。



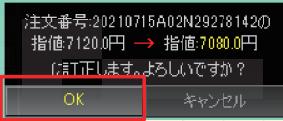
確認画面(省略可能)が出て、もう一度「注文」をクリックし、発注完了です。

- 発注後は自身の注文依頼が板に表示されます。
- フル板の下方にも、注文中の取引が一覧表示されます。
- 売却注文中の株のボタンはグレー表示になり、二重注文が出来ないようになっています。



フル板発注:訂正／取消

- ①注文依頼中のアイコンをクリックしたまま訂正したい指値エリアや成行エリアへドラッグ＆ドロップし、下記ポップアップで「OK」をクリックし訂正完了です。



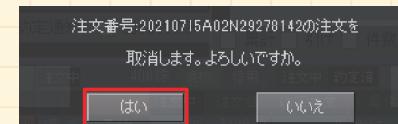
- ②注文依頼を全取消したい場合は「消」をクリックし、下記ポップアップで「はい」をクリックし全取消ができます。



- ③右クリック個別注文取消。右クリック→確認ポップアップ表示→「はい」をクリックで個別注文を取消ができます。



- ④それぞれの注文を個別に取り消す場合は、④の「消」ボタンをクリックします。右記のポップアップで「はい」をクリックし取消完了です。



- ⑤それぞれの注文を個別に訂正する場合は⑤の「訂」ボタンをクリックします。右記ポップアップで「はい」をクリックし訂正完了です。



フル板発注:複数注文の一括訂正機能

■複数注文の一括訂正機能:

同一価格に複数注文がある場合でもドラッグ＆ドロップで訂正が可能です。
現物買い＋信用新規買い等の取引区分が異なる注文も一括訂正が可能です。

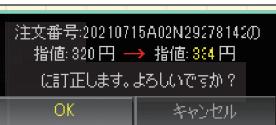
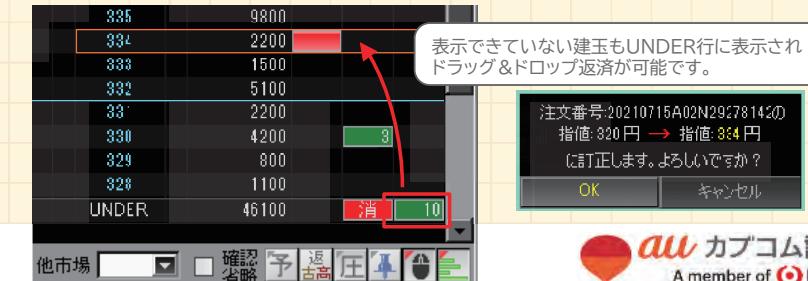
- 同一価格に複数注文がある場合でもドラッグ＆ドロップ訂正が可能です。
※詳細は次ページ、次々ページの可否表をご確認ください。
- 確認画面で訂正対象の注文数を表示します。
- 現物買い＋信用新規買いなどの取引区分が異なる注文も一括訂正が可能です。
- 逆指値などのトリガー系の執行条件についてはドラッグ＆ドロップ訂正対象外です。



■表示値幅外の建玉総数表示機能および一括返済機能:

表示している値幅=板(気配)部分を超えた建玉についてもドラッグ＆ドロップ返済が可能です。UNDERに表示している買建玉OVERに表示している売建玉もドラッグ＆ドロップ返済が可能です。

- 表示している板(気配)エリアより高い価格で売り建てた売建玉はOVERの行に、表示している板(気配)エリアより低い価格で買い建てた買建玉はUNDERに表示し、ドラッグ＆ドロップ返済を可能にしています。
- また、同一価格に複数の建玉がある場合や、異なる価格での建玉が複数まとまっている場合はそれら全ての建玉をOVER/UNDERに表示し、ドラッグ＆ドロップした先の価格で返済されます。
- 現物残+信用買建玉が混在している場合はドラッグ＆ドロップ返済はできません。





フル板発注: ドラッグ＆ドロップ訂正・返済可否

ドラッグ＆ドロップ訂正・返済可否:

フル板発注のドラッグ＆ドロップで訂正や返済をしようとする場合、価格や注文の状態によっては、ドラッグ＆ドロップが利用できない場合があります。

フル板発注 ドラッグ＆ドロップ 訂正・返済可否		金額行		成行行		Total行			
		単独 注文	同株数 注文	成行 単独 注文	成行 複数 注文	指値 単独 注文	同金額 複数 注文	異金額 複数 注文	成行 単独 注文
返済	現物	※1	-	-	○	○	○	-	-
	信用	○	○	-	-	○	○	○	-
	現物 + 信用	※2	-	-	-	×	×	-	-
訂正	先物	○	○	-	-	○	○	○	-
	現物	○	○	○	○	○	○	○	○
	信用	○	○	○	○	○	○	○	○
	現物 + 信用	-	○	-	○	-	○	○	○
	先物	○	※3	○	※3	-	○	※3	○

※1 現物は平均取得単価のため、金額上には表示しません。
 ※2 現物は平均取得単価のため、金額上には表示しないため、金額行には、信用の玉しか表示されません。
 信用建玉のみのドラッグ＆ドロップであれば可能。
 ※3 実際は、成行はFAK・FOKしか指定できないため、即約定もしくは失効します。

次のページのマウス訂正・訂正可否一覧のように、マウス訂正不可注文が混在する場合は訂正ができません



フル板発注: マウス訂正・訂正可否一覧

マウス訂正可否一覧		成行・ 金額行	Total行	備考
逆指値	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	×
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ後は注文受付結果待ち中から訂正可能
	不成	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ後は注文受付結果待ち中から訂正可能
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ後は注文受付結果待ち中から訂正可能
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は成行と同様、訂正受付結果待ち中から訂正可能
	不成	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は成行と同様、訂正受付結果待ち中から訂正可能
W指値	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ後は注文受付結果待ち中から訂正可能
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は成行と同様、訂正受付結果待ち中から訂正可能
	不成	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は成行と同様、訂正受付結果待ち中から訂正可能
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ後は受付結果待ち中から訂正可能
始値±指値	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ後は金額行に注文が表示されない
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は受付結果待ち中から訂正可能
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は金額行に注文が表示されない
終値±指値	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は受付結果待ち中から訂正可能
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は金額行に注文が表示されない
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は受付結果待ち中から訂正可能
トレーリングストップ	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	○	ピンゴ後は受付結果待ち中から訂正可能
	不成	○	○	
	寄成	×	×	
	寄指	○	○	
	引成	×	×	
時間指定	引指	○	○	
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ前は時間訂正以外訂正できない
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
	不成	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	ピンゴ前は時間訂正以外訂正できない
時間取消	指値	○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
時間訂正	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
	不成	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログでの訂正是可能
時間W指値	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログからの訂正も不可
	指値	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログからの訂正も不可
	不成	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログからの訂正も不可
	成行	ピンゴ前 ○ ピンゴ後 ○	×	訂正ダイヤログからの訂正も不可
IOC	指値	○	×	訂正ダイヤログからの訂正も不可
	成行	○	×	訂正ダイヤログからの訂正も不可



フル板発注:逆指値

逆指値(成行)注文を追加:

フル板発注や発注パネルでは「〇〇円になったら成行で発注」といった逆指値(成行)と、「〇〇円になったら指値〇〇円で発注」といった逆指値(指値)が可能です。

●発注パネル



- このボタンで
- 「逆成」(トリガーがヒットしたら「成行」で発注)と
- 「逆指」(トリガーがヒットしたら「トリガ価格と同じ指値」で発注)とを切り替えることができます。

●フル板発注



フル板発注:逆指値

逆指値-成行

「〇〇円になったら成行」で発注する逆指値のことです。

例:573円で買建てたA株が今後下落して
568円になるようであれば損切りのため
成行で返済したい。

特定	売	信用返済	制度
W指			568円
前引け			
前不成		注文	逆指

その後、悪材料が出て568円まで下落したとしても、逆指値を入れていたため、568円の株価がついた時点での成行の返済注文が発注され、約定することによって、傷が浅いうちに損切りができることがあります。

※逆指値(成行)の場合は、注文がマーケットに発注された際に、仮に価格が568円になっていた場合は、約定値が567円や566円といった約定すべりの可能性があります。「多少の約定すべりは構わない、損切りをすることが第一優先」といった場合に使用します。

逆指値-指値

「〇〇円になったら指値〇〇円」で発注する逆指値のことです。

例:573円で買建てたA株が今後下落して
568円になるようであれば損切りのため
返済したい。
ただし568円より安くは売りたくない。

特定	売	信用返済	制度
W指			568円
前引け			
前不成		注文	逆指

逆指値-指値
その後、悪材料が出て568円まで下落したとしても、逆指値を入れていたため、568円の株価がついた時点での指値568円の返済注文が発注され、タイミングよく568円で約定できれば、傷が浅いうちに損切りができることがあります。

※逆指値(指値)でトリガーと「指値」が同じ価格の場合は「568円をつけた時に指値568円を発注」となり、指値568円注文がマーケットに発注された際に、すでに567円になっていた場合、すでに発注価格よりも安くなってしまっているため、再度568円に上昇しない限り約定しないこともあります。



フル板発注:W指値

W指値:

ここでは例として、「現値が576円の場合に、建玉(573円買建)をW指値で返済したい。580円に上昇したら利益確定、570円まで下落したら損切りをしたい」といった場合の入力方法をご案内します。

①W指値における指値の入力エリアです。

②W指値における逆指値の入力エリアです。

③「返」をクリックすると、左サイドの注文入力メニューに株数や商品/売買区分が反映されます。

④W指値(利益確定)

④W指値(損切り)

●W指値の入力手順

- まず、①の指値エリアで利益確定の指値を入力します。
- 続いて②で逆指値の入力をします。商品区分(現物/信用/先物/OP)や売買区分左サイド入力メニューから入力いただいてもよいですし、③で自動反映もできます。

W指値条件注文入力を行ってください。

フル板発注:信用返済(建玉毎)

①返済したい買建玉を返済したい売指値エリアへドラッグ＆ドロップすると、下記のようなポップアップが出ます。よろしければ「注文」をクリックします。

特定	売	信用返済	制度
500		580円	
W指		逆成	
前引け		注文	
前不成		逆指	
		後引け	
		後不成	

確認画面やPWを省略している場合は以上で返済完了です。

②返済順序は「返」ボタンでルール決めを行います。

③返済する建玉を自身で選択したい場合は建玉を右クリックし、「残高照会」を選択します。残高照会にて建玉明細指定返済を行ってください。

→詳細は信用/先物/OPの建玉明細指定返済をご参照ください。

取引	保有数	注文中
返	信用制度	500
返	信用制度	500



フル板発注:返済順序ボタン

返済順序ボタン:

返済建玉の一部を返済する場合の返済順序をこれまでシステム設定にて選択していましたが、フル板発注の画面上に返済順序ボタンを設置しました。これにより状況に応じた素早い返済順序設定が可能になりました。

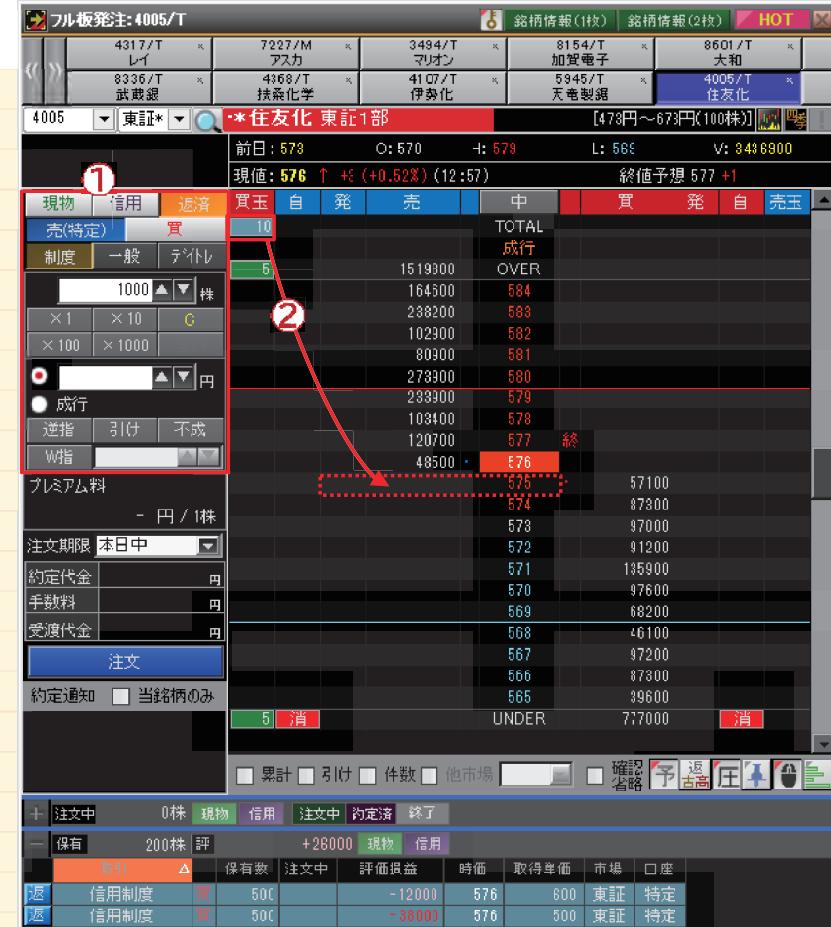
●フル板発注



日付(古い順)、損益(高い順)	建玉日の古いポジションから順番に返済していきます。同じ建玉日のポジションがある場合は損益の高い利益が一番出ているものから=損失が一番少ないものからポジションから順番に返済していきます。
日付(古い順)、損益(低い順)	建玉日の古いポジションから順番に返済していきます。同じ建玉日のポジションがある場合は損益の低い利益が一番少ないものから=損失が一番多いものからポジションから順番に返済していきます。
日付(新しい順)、損益(高い順)	建玉日の新しいポジションから順番に返済していきます。同じ建玉日のポジションがある場合は損益の高い利益が一番出ているものから=損失が一番少ないものからポジションから順番に返済していきます。
日付(新しい順)、損益(低い順)	建玉日の新しいポジションから順番に返済していきます。同じ建玉日のポジションがある場合は損益の低い利益が一番少ないものから=損失が一番多いものからポジションから順番に返済していきます。
損益(高い順)、日付(古い順)	損益の高い利益が一番出ているものから=損失が一番少ないものからポジションから順番に返済していきます。損益が同じポジションが複数ある場合は建玉日の古いポジションから順番に返済していきます。
損益(低い順)、日付(古い順)	損益の低い利益が一番少ないものから=損失が一番多いものからポジションから順番に返済していきます。損益が同じポジションが複数ある場合は建玉日の古いポジションから順番に返済していきます。
損益(高い順)、日付(新しい順)	損益の高い利益が一番出ているものから=損失が一番少ないものからポジションから順番に返済していきます。損益が同じポジションが複数ある場合は建玉日の新しいポジションから順番に返済していきます。
損益(低い順)、日付(新しい順)	損益の低い利益が一番少ないものから=損失が一番多いものからポジションから順番に返済していきます。損益が同じポジションが複数ある場合は建玉日の新しいポジションから順番に返済していきます。



フル板発注:信用返済(全建玉)



- ①返済、売/買、全数量を手入力するか、
②を返済したい板気配へドラッグ & ドロップすると、右記のようなポップアップが
出ますので、「注文」をクリックし発注完了です。





フル板発注(Fintechプラン適用時)

● Fintechプランの適用で利用可能なフル板機能一覧

全注文件数表示	「累計」「引け」「件数」をチェックすることで、全ての注文件数をリアルタイムで表示できます。
全注文情報(板情報)表示	すべての注文情報(板)をリアルタイムで表示することができます。
呼値10本以上の圧縮板	注文が入っていない板を非表示にすることができます。
始値予想/終値予想	寄付前の始値予想、引け前の終値予想の値を表示することができます。 ※成行や引成の数が少ない等で表示されない場合があります。

Fintechプラン適用時に表示できるフル板画面

上は「引成」件数、下は「引指」件数です。右側にその株数が表示されます。

気配の件数が表示されます。

中心固定ボタン「OFF」状態でスクロールバーが表示されます。

累計(最良気配から順番に足し算)を表示します。○〇円までに〇〇株の売り(買い)といったように、と買/売気配のバランスが目でわかります。

	中心値固定のon/offアイコンです。発注しやすい板固定モード(呼値モード)と、値動きに合わせて板が上下する板モードの切り替えが可能です。ONの状態でのマウス取引はできません。
累計	Fintechプラン以上が適用された場合は、気配毎の発注数量の累計を表示します。
引け	Fintechプラン以上が適用された場合は、引けの数を表示します。
件数	Fintechプラン以上が適用された場合は、気配毎の注文件数を表示します。



配当利回りの良い銘柄を買う

■他のツールとの組み合わせ:

スクリーニングツール「kabuナビ」で配当利回りが高い銘柄をスクリーニングし、kabuステーションで買注文を発注する等、kabuステーションと他のツールとの組み合わせて取引をすることもできます。

- スクリーニングツールkabuナビにて、「詳細条件設定」の「財務」—「配当利回り」や、「コンセンサス」—「配当利回り(予)」を選択し検索(スクリーニング)します。

- スクリーニングした銘柄をkabuステーションに登録します。
HOTキーを使用することにより、発注パネル、チャート、ニュース、銘柄個別ウィンドウなどに連動させることができます。

- 登録方法は次ページをご覧ください。

スクリーニングした銘柄を「銘柄登録リスト」に登録します。

kabuナビを使用して「配当利回り」でスクリーニングします

それぞれのウィンドウの右上にある「HOT」キーをONにします。
「HOT」キーをONにすることにより、「銘柄登録リスト」の銘柄名のダブルクリックで、「発注パネル」や「チャート」、「ニュース」等に連携できるようになります。

配当利回りの良い銘柄を買う

■他のツールとの組み合わせ:

「kabuナビ」でスクリーニングした銘柄を、まとめてkabuステーションに登録することができます。この機能を利用することによって、注目する銘柄をスクリーニング→まとめて銘柄監視といったことが可能になります。

①パソコン用のマイページにログインして、「kabuナビ」をクリックします。

②「配当利回り」を選択します。

③「検索」をクリックします。

④銘柄が200銘柄を超えるようならスライドバーで銘柄数を絞り込み、改めて「検索」をクリックします。

⑤「検索結果出力」をクリックします。

⑥ファイル名を入力する画面が表示されますので、わかりやすいファイル名を入力し「OK」をクリックします。
※今回は「高利回り銘柄」としました。

⑦画面左下、もしくは画面右上に左記のような表示が出ますので、表示が出たらkabuステーションの「銘柄登録リスト」を開きます。

⑧kabuステーションの銘柄登録リストを開き、「インポート」「選択したシート」をクリックします。
※銘柄登録済みのシートにも、上書きして登録できます。
※今回は上書きで登録する方法でご説明します。

⑨左側の「ダウンロード」を選択します。
⑩右側にファイルが表示されますので、このファイルを選択します。
⑪「開く」をクリックします。
⑫下記のような画面が出ますので、「はい」をクリックします。

⑬「kabuナビ」で抽出された、高利回り銘柄の一覧がkabuステーションに登録されました。
タブには⑥で入力した「高利回り銘柄」が記載されており、管理もしやすくなっています。



優待取りの際に優待クロスをしたい

■株主優待取りの際の優待クロス:

kabuナビは、株主優待がある銘柄を絞り込むこともできます。また、決算月でも絞り込めます。kabuナビで「株主優待」+「決算月」で絞り込めば、直近の株主優待銘柄もリストアップできます。

リストアップした銘柄を、「銘柄登録リスト」に登録しておけば、kabuステーションで優待クロスが可能になります。

●一般信用売建可能銘柄検索

優待を取りたい銘柄が決まったら、一般信用売建ができる銘柄がどうかを確認しましょう。

The screenshot shows the kabu STATION software interface. In the top menu bar, the 'Stocks' tab is selected. A callout box points to the 'General Credit Sale/Buy Possibility Stock Search' button in the 'Stocks' dropdown menu. Below the menu, a search dialog box is open, showing a list of stocks. A callout box points to the search input field with the text '②銘柄コード' (Stock code) and '③検索ボタン' (Search button). Another callout box points to the results table with the text '①株式→『一般信用可能銘柄検索』をクリックします。' (Click on 'General Credit Sale/Buy Possibility Stock Search' under Stocks).



●発注

実際に現物買いと信用新規売建注文を発注をして、権利落ち後の値下がりヘッジが可能なポジションを組みましょう。

現物買い+信用新規売建以外にも、信用新規買建(約定後→即品受)+信用新規売建か らエントリーする方法もあります。

The screenshot shows two side-by-side order entry windows. The left window is titled '信用新規売' (New Credit Sell) and the right is '現物買' (Physical Buy). A callout box labeled '④ 信用新規売り' (Credit New Sell) points to the sell order window. Another callout box labeled '⑤ 現物買' (Physical Buy) points to the buy order window. A large callout box contains two sub-points: '④『信用新規売り』注文を発注します。' (Place a credit new sell order) and '⑤上記の注文を発注したら『現物株式』の買い注文を発注します。' (After placing the above order, place a buy order for 'Physical Stocks'). A final callout box at the bottom states '上記ふたつの注文が約定すれば、後は品渡しを残すのみです。' (Once these two orders are confirmed, delivery will remain).

●品渡で決済する

品渡しは、WEBのマイページから行います。kabuステーションからは、下記のメニューでWEBのマイページに遷移したのち、マイページにて品受／品渡を行います。

The screenshot shows the kabu STATION interface with the 'Stocks' tab selected. A callout box points to the '品受・品渡' (Delivery) button in the 'Stocks' dropdown menu. An arrow points from this button to a callout box containing the text 'ログイン後マイページにて品渡し処理' (Handle delivery after logging in to the My Page).

●銘柄登録リストに登録しよう。

銘柄登録リストに登録しておけば、ドラッグ＆ドロップすることで、各種発注ダイアログ(発注パネル等)に銘柄を登録することができます。

The screenshot shows the kabu STATION interface with the 'Stock Register List' window open. A callout box points to the '9603 HIS' entry in the list. Red arrows show the dragging and dropping of this entry into various trading windows, such as the order entry screen and the chart area, demonstrating how it can be used for quick order placement.

先物とオプションでリスクヘッジ



■先物とオプションでリスクヘッジ

日経225先物を買建しながらも、値下がりした場合に備えてオプションでヘッジをする際にも、kabuステーションで素早い発注が可能です。

例：日経225先物9月限の買建とオプションPUTの買による合成ポジション

優待取りの際に優待クロスをしたい同様に、先物+オプションの合成ポジション組成もバスケット発注が便利です。詳しくは「マニュアル03」バスケット発注の登録方法をご参照ください。

為替マーケットを見ながらの売買

■為替マーケットを見ながら売買

kabuステーションでは為替情報がリアルタイムでご覧いただける「マネービュー」があります。また、為替(auカブコム FX)チャートを表示させることもできます。為替相場を見ながら投資タイミングを逃すことなくお取引いただけます。



●マネービュー(ボックス)



●為替チャート

※登録方法は、マニュアル02「銘柄登録方法をご覧ください。」



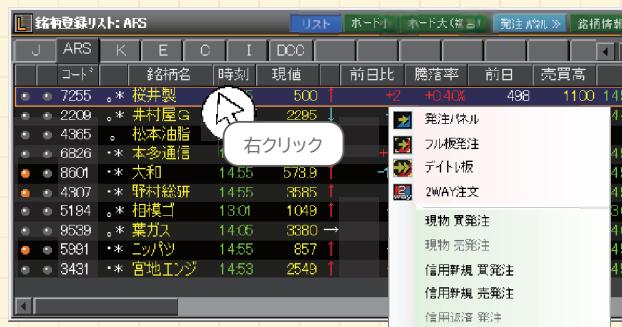
為替マーケットを見ながらの売買

為替情報をチェックしながら…



株式や先物の注文

●銘柄登録リスト



●各種の発注ダイアログ

(例):マネービューや為替チャートを見ながら、為替感応度の高い銘柄の取引を素早く行うといった取引に利用できます。



ランキングを活用した売買

■ランキングを活用した売買:

ランキングにて、値動きの激しい銘柄や値上がりしている銘柄を確認し、銘柄登録リストに登録しておくことで、機を逃さず素早く発注することができます。

●ランキング

ドラッグ＆ドロップ(⇒基本操作:ドラッグ＆ドロップ)で銘柄登録リストに登録できます。

詳細ランキング: 値上がり率 - 全市場 - 当日						
順位	トレンド	コード	銘柄名	現在値	前日比	TDK回数
1	▲	8 4689	ZHD	560.8	+1.1	21,032
2	▼	1 8902	東京中央銀行	7,534	-92	13,064
3	▲	6501	日立	—	—	12,242
4	▲	5 8306	三井UFJ	—	—	11,400
5	↑外	7599	IDC M	—	—	9,670
6	↑内	34 7015	帝國重工	2,905	-245	9,443
7	↑	7 6920	レーザーテク	21,050	+70	9,226
8	▼	5 7201	日産自	568.8	-13.4	8,955
9	↑	44 9519	レノバ	4,780	-480	8,417
10	↑↑内	8305	白水銀行	864.3	-14.5	8,020
11	↑↓外	7203	トヨタ	9,832	-37	7,442

●発注パネル

タイミングを見て、HOTキー連動やドラッグ＆ドラップで銘柄登録し、素早く発注



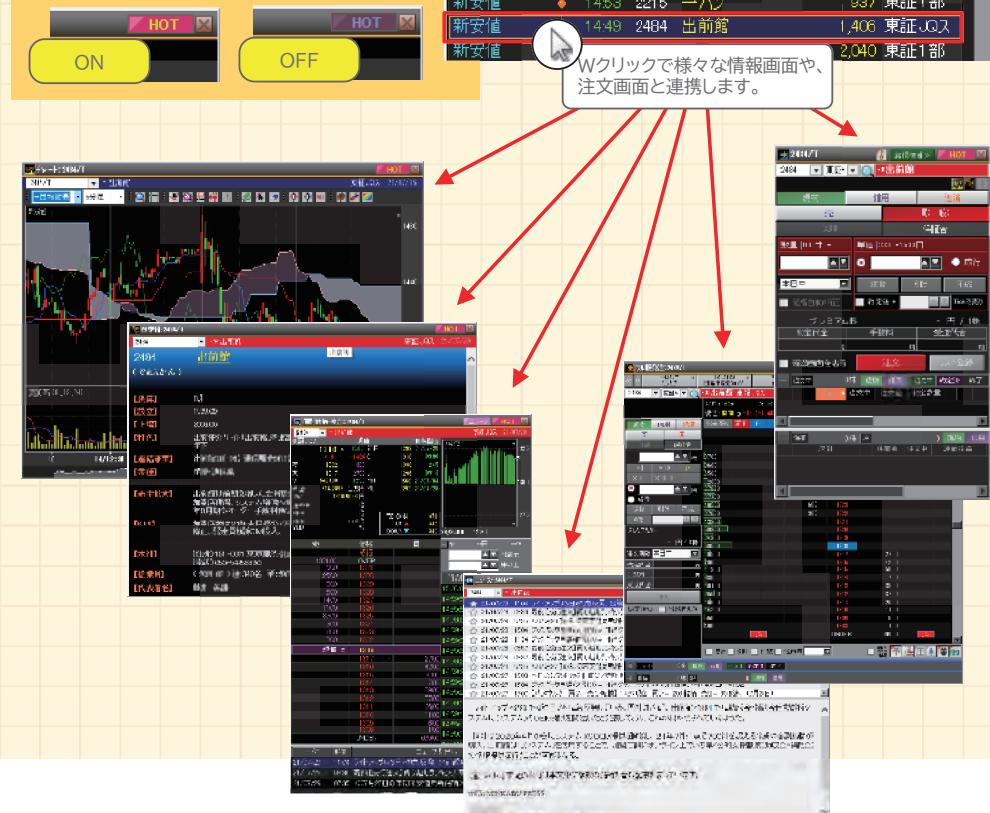
ランキングを活用した売買

●事象リスト

ストップ高(安)、新高(安)値等、値動きのあった銘柄をリストアップされています。

●ホットキー連動

ホットキー(⇒HOTキーの初期設定)ONにすることで、銘柄をダブルクリックするだけで、チャートをはじめとした情報系画面や、発注パネルなどの注文系画面への連動が可能です。



バスケット発注の活用例:NTスプレッド

●NTスプレッドを活用した売買:

日経225先物取引とTOPIX先物取引でNTスプレッド取引を行う場合もバスケット発注が便利です。予め注文をセットしておくことができるので、相場状況を見ながらワンアクションで発注することができます。当社はミニTOPIX先物を取り扱っておりますので、日経225miniとミニTOPIX先物を組み合わせて、ラージより少ない金額で「ミニNTスプレッド」をお取引いただけます。

●バスケット発注

バスケット										銘柄情報		
バスケット1			バスケット2			バスケット3				待機注文数: 2件 / 注文件数: 2件		
<input checked="" type="checkbox"/>	コード	銘柄名	市場	取扱区分	売買	執行条件	数量条件	価格	数量	残高	状態	
<input type="checkbox"/>	101.I	日経平均先物 09	大阪日中	先物新規	買	MO	FAK		1	残高	待機	
<input type="checkbox"/>	151.I	TOPIX先物 09	大阪日中	先物新規	売	MO	FAK		1	残高	待機	

日経225先物のTOPIX先物で割高な方を「売」にセットし、割安な方を「買」にセットします。

バスケット発注の詳細は「マニュアル03」バスケット発注の登録方法をご参照ください。

●スプレッド取引とは

バスケット発注の活用例:NTスプレッド取引とはインデックス間スプレッド取引の一種です。

例えば、日経225先物が割高だと判断する場合は、日経225先物を売り建て、割安だと判断するTOPIX先物を買い建てることにより、両指数の乖離が拡大する際に利益を狙います。

2つの指数のスプレッドの拡大・縮小を分析、予想する取引のため市場全体の上げ下げの影響を受けにくいのが特徴です。

日経平均株価、TOPIXの比較チャート





バスケット発注の活用例: NTスプレッド

日経平均株価指数(日経225)をTOPIXで割った数字をNT倍率と言います。日経平均はハイテク株などの値がさ株の影響を受けやすく、TOPIXは時価総額の大きい金融セクターなどの影響を受けやすいという特徴があります。

ハイテク株などの上昇は、【日経平均株価が上昇→NT倍率が上昇】の連鎖を生じさせます。

同様に、金融株など上昇は【TOPIX上昇→NT倍率が低下】の連鎖を生じさせます。

NT倍率が上昇すると判断するのであれば、日経平均先物を買い、TOPIX先物を売り
NT倍率が下降すると判断するのであれば、日経平均先物を売り、TOPIX先物を買いとなります。
これらの投資手法は、株式の取引でも株価指数のETFを利用することにより応用が可能です。

日経225・TOPIXとNT倍率の関係		
ハイテク株上昇・日経225上昇	⇒	NT倍率上昇
ハイテク株下降・日経225下降	⇒	NT倍率下降
金融株上昇・TOPIX上昇	⇒	NT倍率下降
金融株下降・TOPIX下降	⇒	NT倍率上昇



バスケット発注の活用例: カレンダースプレッド

■カレンダースプレッド取引:

異なる限月のオプションを使い、タイム・ディケイ(時間的価値の減少)による利益を狙うカレンダースプレッド取引を行う場合もバスケット発注が便利です。

●バスケット発注

バスケット										銘柄情報
バスケット1 バスケット2 バスケット3			待機注文件数: 2件 / 注文件数: 2件							
コード	銘柄名	市場	取引区分	売買	執行条	数量条件	価格	数量	残高	状態
<input checked="" type="checkbox"/> 101#2 日経平均Op 09コール28250	大阪日中	OP新規	売	MO	FAK	1	1,600	残高	待機	
<input type="checkbox"/> 101#2 日経平均Op 12コール28250	大阪日中	OP新規	買	MO	FAK	1	1,600	残高	待機	

カレンダースプレッド取引は、同権利行使価格のオプションで期近限月のオプションを売り、期先限月のオプションを買うポジションとなります。

バスケット発注の詳細は「マニュアル03」バスケット発注の登録方法をご参照ください。

●一括返済をセット

どのようなポジションを組むにしても、思惑と異なる方向へ値動きをすることがあります。そのような場合に素早く返済を行うため、バスケット注文を使い、合成ポジションごとに一括返済することができます。

コード	銘柄名	市場	取引区分
<input type="checkbox"/> 101#2 日経平均Op 09コール28250	大阪日中	OP新規	
<input type="checkbox"/> 101#2 日経平均Op 12コール28250	大阪日中	OP新規	
<input checked="" type="checkbox"/> 101#2 日絞平均Op 09コール28250	大阪日中	OP返済	
<input checked="" type="checkbox"/> 101#2 日絞平均Op 12コール28250	大阪日中	OP返済	

●カレンダースプレッドとは

「カレンダー・スプレッド」とは同一権利行使価格で期近の限月のコール(プット)を複数枚売り、期先の限月のコール(プット)を1枚買って、タイム・ディケイ(時間的価値の減少)の差を利用して利益を上げる投資方法です。※期近プット売るならば期先プットを買い、期近コールを売るならば期先コールを買います。

受取代金 > 支払代金になるように、売り付ける期近のオプションの枚数を調整します。残存日数が少ないオプションの方が、残存日数が多いオプションより時間的価値の減少率が大きいことを利用して行う取引です。



TOPIX先物とETFを使ったアービトラージ

■カレンダースpread取引:

日経225先物とETFを組み合わせたアービトラージ(裁定取引)も、バスケット発注で予め注文をセットすることができるので相場状況を見ながらワンアクションで同時発注することができます。

●バスケット発注

バスケット: 1321/T										銘柄情報 > X	
バスケット1		バスケット2		バスケット3		待機注文件数: 2件 / 注文件数: 2件					
コード	銘柄名	市場	取引区	売買	執行	数量条件	価格	数量	受渡区	残高	状態
1321	野村日経平均/ETF	東証	現物	買	成行		100	お預り金	残高	待機	
151.1	TOPIX先物12	大阪日	先物新	売	MO	FAK	1	残高	待機		

TOPIX先物とETFを使ったアービトラージはなるべく約定代金が同じになるように発注(登録)します。バスケット発注の詳細はバスケット発注の登録方法をご参照ください。

●アービトラージ(裁定)取引とは

株式、為替、金利、債券、コモディティなど多くの商品が世界中の市場で日々取引されていますが、同じ商品であっても、市場の違いにより価格差が生じたり、現物の取引価格と先物の理論価格の間に価格差が生じたりすることがあります。この市場にできる価格差を利用して利益を獲得しようとする取引をアービトラージ(裁定)取引といい、同一の性格を持つ2つの商品の間で、割安な方を買い、割高な方を売ることにより、収益を狙う取引です。

ここでは、TOPIX先物/ミニTOPIX先物とETF(上場投資信託)を組み合わせる手法を取り上げます。

例えば、今後も円高がしばらく定着して輸出中心の機械セクターが下がると判断する場合、業種別ETFの機械セクターを売り、TOPIX先物を買います。テクニカル／ファンダメンタルどちらのアプローチでも、特定の業種について上昇予想なら、そのETFを買ひ。TOPIX先物を売る、あるいは、特定業種について下落予想なら、その業種別ETFを売って、TOPIX先物を買うということです。

ここでのポイントは、業種別ETFと組み合わせるのは、日経225先物ではなく、TOPIX先物の方が有効であるということ。日経平均の構成銘柄数は少なく、市場全体とは異なった動きをすることがあるからです。市場全体を網羅するTOPIXならではの手法だと思います。

デリバティブには、たくさんの収益チャンスが隠されています。ETFとの併用はその代表的な手法ですが、わかりやすさの点で、これからやってみようというお客さまには入りやすいかもしれません。



指数先物取引とETFを使った分配金取り

■指数先物取引とETFを使った分配金取り:

日経225先物やTOPIX先物とETFを組み合わせたアービトラージ(裁定取引)を応用して、配当相当額を享受する方法をご案内いたします。

●バスケット発注

バスケット										銘柄情報 > X	
バスケット1		バスケット2		バスケット3		待機注文件数: 2件 / 注文件数: 2件					
コード	銘柄名	市場	取引区分	売買	執行	数量条件	価格	数量	残高	状態	操作
1021	野村日経平均/ETF	東証	現物	買	成行		100	お預り金	残高	待機	
101.1	日経平均先物 09	大阪日中	先物新規	売	MO	FAK	1	残高	待機		

指数先物取引とETFを使った分配金取りでは、なるべく約定代金が同じになるように発注(登録)します。バスケット発注の詳細はバスケット発注の登録方法をご参照ください

●指数先物取引とETFを使った分配金取り

TOPIX先物とETFを使ったアービトラージでご案内したアービトラージ(裁定)取引を応用しETFとTOPIX先物を使って分配金を取るという手法もあります。

信用取引をされているお客さまはご存じかと思いますが、ETFには配当に相当する分配金がつくものがあります。TOPIX先物／日経225先物には分配金がありませんから、TOPIX連動のETFを買って先物を売ることで、理論的には株価の変動リスクをおさえて配当を取るという手法が考えられます。

- なるほど。株式と同じように3月/9月が決算で仕込めばいいんですか？
- いえ、インデックス系のETFは1月/7月決算の銘柄が多いです。
- 手数料無料のフリーETFも分配金が出るんですよね？
- はい。十分な出来高があるか等注意が必要ですが、MXS225(1346)やMAXISトピックスETF(1348)といったフリーETFは手数料が常に無料で、分配金も出ます。

memo



応用編

レイアウトのコツ

人気のウィンドウ／個別銘柄・複合



■個別銘柄:複合ウィンドウ

個別銘柄・情報ウィンドウは、価格・板・チャート・T&Sなどをまとめて表示できる便利なウィンドウです。複合の他にも「複合ミニ」「板」「詳細」「T&S」を個別に表示することも可能です。

●個別銘柄・複合

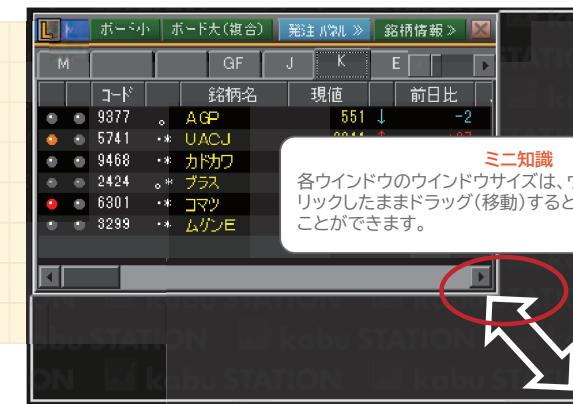


個別銘柄・複合は4本値、気配、T&S、チャートを一目で確認することができ、人気のあるウィンドウです。サイズが大きめのウィンドウのため、「個別銘柄・複合ミニ」もご用意しています。

※個別銘柄の各画面の詳細については「マニュアル04」個別銘柄画面説明もご参照ください。



●拡大や縮小



各ウィンドウのウィンドウサイズは、ウィンドウの橋を左クリックしたままドラッグ(移動)すると、拡大や縮小することができます。

日経平均／TOPIX

■日経平均／TOPIX

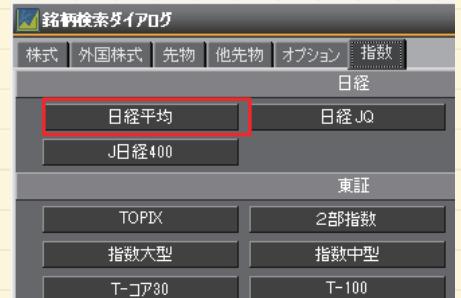
先物取引は原資産である日経平均先物やTOPIXを参照することが多いと思います。ここではそれら指標の見方をご案内します。

●指標リスト

銘柄登録リスト／指標リストの銘柄コード入力部分の上で右クリック→「銘柄検索」を左クリックします。



銘柄検索ダイアログから表示させたい指標をクリックします。



登録完了です。

Instrument Registration List							
コード	銘柄名	現値	前日比	騰落率	前日	売買高	売買代金
101	日経平均	28000.76 ↓	-278.33	-0.98%	28279.09	345.05	

ニュース

■ニュース

各種情報ベンダー やカブコム投資情報室等の情報元よりニュースを配信。保有銘柄や注文中の銘柄ニュース絞込機能やスクラップ機能も搭載しています。

kabuステーションのニュースは、単語検索が可能です。気になる単語や時事用語でニュース検索をしてみてください。

「▽」をクリックすると、その下に配下の項目が表示されます。チェックを外すことで、必要なニュースのみを表示します。

1位の東京市場で、きずなHDはストップ高入り急騰。15日取引終了時に公表した22年5月期通期の連結業績予想が好感されているようだ。

今期の売上収益は前期比14.6%増の92億円、営業利益は同36.4%増の10億円を見込む。今期も新規店舗出店する計画があるほか、顧客ニーズを着実に捉えることにより、新規件数は同12.0%増の1万200件になる見通しとなっている。

また、あわせて6月度の月次業績(速報値)を発表し、新規売上件数は前年同月比17.6%増の51億8100万円となった。新規単価は同1.4%減の79万7000円ほどましたが、一方で新規件数が同19.3%増の780件となったことが寄与している。

マネービュー

■マネービュー

当社提供のauカブコム FXの為替レートをリアルタイムで確認できるウィンドウです。リスト表示とボックス表示があり、FX口座を開設していなくても表示することができます。

取引には為替情報も重要です。為替が変動する際、銘柄によっては日経平均より敏感に変動する場合や、取引時間外に変動する場合などには、為替変動を受けて先物のナイトセッションに影響してくるといったことも考えられます。

マネービューに表示されているスプレッドは1銭=PIPSと記載。外国通貨 対 外国通貨は1pips=0.0001です。

レイアウトの実例

■レイアウトの実例

参考になりそうな6つのレイアウトを準備しました。使いたいウィンドウをご自身のお好みの位置に設置してオリジナルレイアウトを作成してみましょう。

お使いいただけるのは、下記のレイアウトです。お客様がご利用されている画面サイズに合わせて表示するウィンドウを取捨選択していただくことにより、より使いやすい画面になるはずです

- 一般的なレイアウト
- 2WAY注文で連続高速発注
- チャート中心の個別銘柄分析
- 先物OPを発注パネルで
- 2WAY注文とリアルタイム株価予測
- コンパクトにザッピング

どのレイアウトがいいか悩んだら、まずは「一般的なレイアウト」を試してみてください。



レイアウトの実例 サンプルレイアウト



●サンプル2 2WAY注文で連続高速発注



レイアウトの実例 サンプルレイアウト



●サンプル4 先物OPを発注パネルで





レイアウトの実例

サンプルレイアウト

●サンプル5 2WAY注文とリアルタイム株価予測

●サンプル6 コンパクトにザッピング

ご注意事項

- 本資料は、情報の提供を目的としており、特定の銘柄等の勧誘、売買の推奨、相場動向等の保証等をおこなうものではありません。
- 本資料に記載の商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失（元本超過損）が生じるおそれがあります。
- 各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページをご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。
→手数料 (<https://kabu.com/cost/>)
- 当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」や取引ルール等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断と責任でおこなってください。

【重要(必ずお読みください)】
ご投資にかかる手数料等およびリスクについて
<https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>

auカブコム証券株式会社

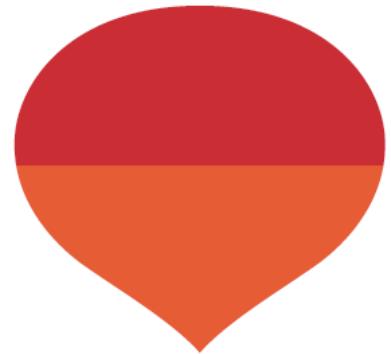
金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号
 銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号

電子決済等代行業者登録：関東財務局長（電代）第18号
 加入協会：日本証券業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 日本STO協会



au カブコム証券
A member of MUFG